

人・街・ながた 震災資料室ニュース

2007. 2. 17

人・街・ながた震災資料室

発行人 寿 広文

編集人 武川泰恵・藤原美紀

九州・篠山からの研修会

平成19年2月3日(土)、添田町(福岡県田川郡)の小中学校教員・部落解放同盟連絡協議会の方を中心にご家族を含め20名あまりの方々が当資料室を訪問された。

当時の長田区の状況などの説明を受けた後、区役所7階から街並みを見ていると、「九州から仮設住宅を運んできた」とおっしゃる男性のお話を聞くことができた。「とにかく神戸の手前まで届けトンボ返しでもどった、街の様子が気になったがどうしようもないので、運ぶことを考えていた」とのことだ。本当に全国のみなさんの支援を受けながら震災後を歩んでいるのだと、あらためて感じている。

2月4日(日)には兵庫県篠山市菅隣保館の方々約40名が訪問された。区役所7階会議室から、新長田方面を写真パネルと見比べ、職員の説明に熱心に耳を傾けておられた。お子さんも含め、家族参加の方が多かったので、帰宅されてからも家族共通の話題として話してもらいたい。防災や減災のこともあわせて考え語り合ってほしいなあと考えた。

食事配給登録カード

長楽小
学校は野
田6丁目
にあり、
避難所開
設期間は
1月17
日から8

長楽 食事配給登録カード	
震災避難所 長楽(姉)小学校	
ご住所	長田区腕塚町9- [REDACTED]
お名前	[REDACTED]
ご年齢	69歳 登録
ご家族数	3人 番号 6

月20日までで避難者3,000人、就寝者1,700人。早い時期から被災者による運営委員会が設けられ、自治労ボランティア・東京グループが2月6日から3月末まで運営された。

避難所日誌、物資要求綴などノートやファイルは35冊にのぼる。長楽小学校の特徴は他の避難所にはない避難者や周辺住民に「食事配給登録カード」が配られ、これにもとづいて配食されていたことだ。

黄色の用紙で作られたカードに赤で「長楽」のゴム印が押され、住所・名前・年齢・家族数が記されており、裏面には日付表があって弁当を渡すと斜線を入れるようになっている。

東京の田中瑞穂さん(当時53才)は「当初は中途半端な数の物資に悩んだが、おにぎりの残りは焼きおにぎりにし、牛乳の残りはホットミルクにして相互の会話を一挙に増やした」と述べられている。

今春、長楽小学校と二葉小学校が合併し駒ヶ林小学校になる。

○パネルの貸し出しをしました。(大橋町3丁目まちづくり協議会、大正筋商店街・TMO)

○2月16日、職員自主勉強会「やわらの会」の皆さんと阪神淡路大震災について交流会を行いました。

○資料室パンフの英語版・ハングル文字版ができました。

日本最大の復興都市計画事業地区の状況

4回の国政調査を比較して④

区画整理・再開発地区の人口動態

	面積	1990年度	1995年度	2000年度	2005年度	1995/1990	2000/1990	2005/1990
新長田北	59.6ha	6,925	2,874	3,925	5,051	41.50%	56.68%	72.94%
御菅東	10.1ha	1,368	311	424	521	22.73%	30.99%	38.08%
御菅西		735	134	330	410	18.23%	44.90%	55.78%
鷹取東1	28.2ha	2,274	411	1,380	1,488	18.07%	60.69%	65.44%
鷹取東2		998	451	623	701	45.19%	62.42%	70.24%
新長田南	20.1ha	4,584	2,696	2,840	4,551	58.81%	61.95%	99.28%
合計	118.0ha	16,884	6,877	9,522	12,722	38.06%	56.40%	75.35%
長田区合計		136,884	96,807	105,464	103,771	70.72%	77.05%	75.81%
神戸市合計	169.2ha	1,477,410	1,423,792	1,493,398	1,525,389	96.37%	101.08%	103.25%

震災資料室が常設展を初めてから見学者が増えているが、共通して出される質問に「12年経って街は復興したか」である。

この難しい質問に3つの資料をお見せし考えて頂いている。1つは「区画整理・再開発地区の人口動態表」であり、2つ目は「被災住宅地（住居があった空き地）」の新聞記事、そして「神戸空襲の罹災図」だ。

これまで事業地区は動いていて分析したいとの事で取り扱わなかったが4回の国勢調査（20年）を見ることは意義があることだろう。

鷹取東1は01年

2月に換地処分（完了）

事業地区ではそれぞれ「まちづくり協議会」がつくられ神戸市と話し合いが行われ事業が進められた。最も早く動いたのが鷹取東1地区で住民の方々を始め関係者の大変なご努力があったと聞いている。この地区は先の戦争で3月17日と6月5日の空襲から免れた街である。

90年に2,274人だったのが震災で411人になり換地処分が終わって増加傾向になっている。

すいせん（水仙）公園のある御菅（みすが）東

山田洋次監督で渥美清さんの最後の作品である寅さんの48作目のロケをした地区である御蔵通・菅原通は略称で御菅と呼ばれている。

以前の街は公道に囲まれていたが路地は細街路で私道だった。今回の区画整理事業で私道は無くなり全て公道になった、公園も造られ御蔵小学校の子どもらの作品も設置されている。「すいせん公園」の由来は震災の年の1月31日に皇后陛下が皇居の水仙を持って励ましに来られた（この水仙は公園に特殊加工をして保存されている）

御菅の現状は厳しい。換地処分が03年4月14日で4年近く経つが人口回復は順調とは言えない状態だろう。

1,368人いた人々は震災で311人になり、これから増えていく可能性を持っているとも言える。その理由として、この地区は平坦地であり高速鉄道・地下鉄長田駅から5分程度だしJR兵庫駅からも15分もかからない、またすぐ東には西市民病院もあるし味彩館（旧菅原市場）もある。大いに期待が持てる街ではないだろうか。